

DRUG



INFORMATION

2012 No. 9

平成24年8月14日発行

医療事故防止のためアルマール錠が名称変更されます！

岐阜大学医学部附属病院薬剤部
医薬品情報管理室
(内線7083)

医療事故防止のためアルマール錠が名称変更されます！

β 遮断剤「アルマール錠」（成分名：アロチノロール塩酸塩）および経口血糖降下剤「アマリール錠」（成分名：グリメピリド）については、販売名が類似しており、日本医療機能評価機構より薬剤の処方間違いや取り違いによる死亡を含む医療事件事例やヒヤリ・ハット事例が公表されております。

<アルマール、アマリール処方間違い、取り違い事例>

No.	内容
1	医師による処方間違い。カルテにはアルマールと記載したが、処方時にアマリールと入力。入力画面、処方画面に「糖尿病薬」の注意喚起表示あったが確認不足。患者のめまい症状の訴えにて発覚。
2	医師による処方間違い。アルマールをアマリールで処方。薬局で患者との確認で疑義照会を行い発見。
3	薬剤師による取り違い。アルマールの処方のところ、アマリールを取ってしまった。確認を怠った、技術・手技が未熟だったことによる。
4	医師による処方間違い。アルマールをアマリールで処方。薬局で患者に確認すると、「震えの薬である」との回答より、疑義照会を行い発見。

公益財団法人日本医療機能評価機構「医療事故／ヒヤリ・ハット報告事例検索」
「薬局ヒヤリ・ハット報告事例検索」システムより(2011年10月末時点)

以上のような事例から、名称類似に関連した医療事故防止対策の一環として、「アルマール錠 5mg、同 10mg」が以下のように販売名変更されました。

アルマール錠 5mg	⇒	アロチノロール塩酸塩錠 5mg 「DSP」	(院外専用薬品)
アルマール錠 10mg	⇒	アロチノロール塩酸塩錠 10mg 「DSP」	(院内・院外処方薬品)

院内処方の「アルマール錠 10mg」のオーダは、院内の旧名称品の在庫がなくなり次第、新名称品に変更することとします。変更後は DO 処方出来なくなりますので、継続投与が必要な場合は再度薬品名から処方登録をして下さい。なお、今回の名称変更は医療事故防止が目的であるため、薬品名検索時の旧名称での検索には対応致しません。処方時は必ず「アロチノロール」で検索して下さい。

院外処方の「アルマール錠 5mg、同 10mg」については、旧名称でのオーダは **8月31日(金)**で中止とし、**9月1日(土)**からは新名称でのオーダとさせていただきます。なお、院外の各調剤薬局では、在庫状況によっては旧名称品での調剤が必要となる場合がありますが、調剤薬局では病院への疑義照会なしで薬剤師の判断により調剤を行うこととし、変更内容を後日調剤薬局より連絡して頂くこととします。

今回の薬剤を含め、類似名称薬剤の処方時には十分な注意をお願い致します。不明な点につきましては、薬剤部・医薬品情報管理室(内線 7083)までご連絡下さい。